

令和元年12月6日  
一般財団法人 地域創造

## 令和元年度地域創造大賞（総務大臣賞） 受賞施設の決定及び表彰式について

（一財）地域創造では、令和元年度地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞施設を以下の7施設に決定し、表彰式を令和2年1月17日（金）に行います。

### 1 受賞施設

- 宮古市民文化会館【岩手県宮古市】
- 萬鉄五郎記念美術館【岩手県花巻市】
- 塩竈市杉村惇美術館【宮城県塩竈市】
- 神奈川県立近代美術館【神奈川県】
- 上田市交流文化芸術センター【長野県上田市】
- 大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）【大阪府】
- アルカスSASEBO【長崎県及び佐世保市】

### 2 表彰式

日時 令和2年1月17日（金）14:00～15:00  
場所 グランドアーク半蔵門 華の間（東京都千代田区隼町1-1）

### 3 地域創造大賞（総務大臣賞）について

- この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、平成16年度に創設されたもので、今年度が16回目の表彰です。
- 受賞施設は、全国の地方公共団体から応募があった施設について、以下の基準を設け、専門家で構成する地域創造大賞審査委員会（委員長：田村孝子氏／文化ジャーナリスト）において審査を行い、その結果を受けて決定しました。

### 4 審査基準

- (1)地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- (2)先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- (3)地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか

など

#### 地域創造大賞（総務大臣賞）審査委員

役職	氏名	所属等
委員長	田村 孝子	文化ジャーナリスト、公益社団法人全国公立文化施設協会副会長
委員長代理	吉本 光宏	株式会社 ニッセイ基礎研究所 研究理事 (社会研究部芸術文化プロジェクト室長兼務)
委員	板倉 敏和	一般財団法人地域創造 理事長
委員	熊倉 純子	東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科長 教授
委員	小林 真理	東京大学大学院人文社会系研究科 教授
委員	坪池 栄子	株式会社 文化科学研究所 編集プロデューサー
委員	仲道 郁代	ピアニスト
委員	柳沢 秀行	公益財団法人大原美術館 学芸課長

問合せ先  
一般財団法人 地域創造  
総務部 木本、西山  
TEL：03-5573-4164

## —受賞施設紹介—

### 宮古市民文化会館【岩手県宮古市】



#### ◎ “ホール文化による地域再生”を推進

東日本大震災により被災し、大規模改修を経て2014年12月に再開。以来、市内の小・中・高校生を対象とした鑑賞事業、高校生の演劇創作事業、市民劇、子ども劇団とジュニア・アンサンブルの育成などを実施。また、豊かな郷土芸能の継承・発信を目指す「芸能 Re;Connect」に取り組むなど、ホール文化による地域再生を推進した。

運営：特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

開館：1976年

### 萬鉄五郎記念美術館【岩手県花巻市】



#### ◎ “作家の顕彰”により地域に誇りと活力

旧東和町出身の日本近代絵画の先駆者である画家・萬鉄五郎を顕彰。町民運動によって誕生し、長年にわたり作家研究を行うとともに、岩手県初の公立美術館として県内作家の発掘や萬の前衛性を継ぐ若手美術家の紹介に尽力。商店街や地域住民と連携した「街かど美術館」「アート&クラフト・マーケット」にも取り組み、アートによる誇りと活力ある地域づくりに貢献した。

運営：花巻市 開館：1984年

### 塩竈市杉村惇美術館【宮城県塩竈市】



#### ◎ “まちの文化広場”として地域に活力

塩竈市公民館本町分室（昭和25年築）を改修した美術館兼公民館。塩竈ゆかりの洋画家・杉村惇のコレクションを常設展示する他、若手アーティストの支援や多彩な子どもの美術体験プログラムを実施。地域住民の思い出の場所として街の記憶を掘り起こすユニークな企画を展開するなど、暮らしの中にある美術館として活力ある地域づくりに貢献した。

運営：仙台湾燻蒸株式会社 開館：2014年

### 神奈川県立近代美術館【神奈川県】



#### ◎ “展覧会の企画”により美術文化を振興

鎌倉の鶴岡八幡宮境内に誕生した日本初の公立近代美術館（旧鎌倉館は2016年閉館。1984年に鎌倉別館、2003年に葉山館開館）。第二次世界大戦後の再生を掲げ、研究にもとづく精力的な展覧会の企画により日本の近代美術作家を位置づけたパイオニア。講座、出張授業、ワークショップなど鑑賞教育に力を入れ、長年にわたり美術文化の振興と普及に貢献した。

運営：神奈川県 開館：1951年

## 上田市交流文化芸術センター【長野県上田市】



### ◎ “レジデント・アーティスト” により文化力を向上

「文化の薫る創造都市」を標榜する上田市のシンボル施設（上田市立美術館併設）。レジデント・アーティストによる「芸術家ふれあい事業」を展開。音楽家を全小学校・全地区公民館に派遣する他、ワンコイン・コンサート、リサイタル、演出家や振付家によるワークショップ、高校生演劇事業、市民参加ダンス・演劇公演などを実施。アーティストとの交流により文化のまちづくりを牽引した。

運営：上田市 開館：2014年

## 大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）【大阪府】



### ◎ “プラットフォームの形成” を牽引

大阪府工業奨励館附属工業会館（1938年築）を改修した小規模アートセンター。府所蔵の美術作品を公開する展覧会の他、府民がクリエイティブな発想を学ぶ「enocoの学校」やクリエイターが地域とともにさまざまな社会課題に取り組む「プラットフォーム形成支援事業」などを展開。行政、府民、クリエイターが協働するプラットフォームの形成に貢献した。

運営：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ  
開館：2012年

## アルカス SASEBO【長崎県及び佐世保市】



### ◎ “クラシック音楽の普及” により地域に活力

長崎県北部の文化芸術拠点として長崎県と佐世保市が整備。鑑賞事業、アウトリーチ、ロビーコンサート、ジュニアオーケストラを含めた3つのレジデント楽団を立ち上げるなど、クラシック音楽を中心に事業を展開。また、市民演奏団体約100組が出演する「アルカス九十九島音楽祭」など、音楽を通じた交流により活力ある地域づくりに貢献した。

運営：公益財団法人佐世保地域文化事業財団 開館：2001年